

Cisco 700 ルータに HTTP トラフィックのために ISDN を使用させる方法

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Netbios フィルタ](#)

[欠点](#)

[回避策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、HTTPトラフィックが原因でCisco 700ルータがISDNを起動できるようにする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco IOS®ソフトウェアリリース4.4.2以降。
- Cisco 700シリーズルータ (761、775、および776を含む)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、「[シスコテクニカルティップスの表記法](#)」を参照してください。

Netbios フィルタ

このセクションでは、NetBIOSフィルタに関する背景情報を提供します。

Cisco 700シリーズルータ用のCisco IOSソフトウェアリリース4.4.2 (以降) では、標準プロファイルを含むすべてのISDNプロファイルに対して、**set netbios filter on**コマンドがデフォルトでオンに設定されています。

このnetbiosフィルタは、netbiosパケットが常にISDN Bチャネルを起動するのを防ぐために使用されます。次の3つのエントリで構成されます。

- SET IP FILTER UDP OUT DEST 0.0.0.0/0:137-139 IGNORE
- SET IP FILTER TCP OUT DEST 0.0.0.0/0:137 IGNORE
- SET IP FILTER UDP OUT DEST 0.0.0.0/0:53 IGNORE

欠点

このフィルタの欠点は、HTTPブラウザがISDNリンクを起動しないことです。これは、ドメインネームシステム(DNS)サーバポート53へのユーザデータグラムプロトコル(UDP)トラフィックがフィルタリングされるためです。

回避策

回避策は、フィルタを無効にして、最初の2つのエントリだけを設定することです。

例 :

```
router> cd ProfileName
router:ProfileName> SET NETbios Filter OFF
router:ProfileName> SET IP FILTER UDP OUT DEST 0.0.0.0/0:137-139 IGNORE
router:ProfileName> SET IP FILTER TCP OUT DEST 0.0.0.0/0:137 IGNORE
router:ProfileName>
```

次に、**show ip filter**コマンドを使用して、次のようにこれを確認します。

```
router:ProfileName> show ip filter
IP Type Filter
Profile ID Dir Type Action Addresses
-----
ProfileName 1 OUT UDP IGNORE DST 0.0.0.0/0:137-139
ProfileName 2 OUT TCP IGNORE DST 0.0.0.0/0:137
IP Generic Filter
Profile ID Dir Type Action Patterns
```

注 : Cisco 700シリーズルータ用のCisco IOSソフトウェアリリース4.4.3では、**set netbios filter**コマンドが、ポート53のUDPトラフィックのエントリが含まれなくなるように調整されています。

```
SET IP FILTER UDP OUT DEST 0.0.0.0/0:137-139 IGNORE
SET IP FILTER TCP OUT DEST 0.0.0.0/0:137 IGNORE
```

関連情報

- [アクセスダイヤル : テクノロジーに関するサポートページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)